

カテゴリー	銘柄名	ファンドの特色	委託会社	
国内 株式型	半導体関連日本株式戦略ファンド <愛称：半導体ジャパン>	主として日本の半導体関連企業※の株式に投資を行います。 ※ファンドにおいて「半導体関連企業」とは、半導体及び半導体製造装置等の設計・製造を手掛ける企業や、これらの企業に 製品・サービスを提供する企業等半導体産業から業績面で恩恵を受けることが期待される企業をいいます。	三井住友トラスト・アセットマネジメント	
	IIJ日本株ファンド (資産成長型)	IIJ日本株で「マザーファンド」(以下、マザーファンド)への投資を通じて、我が国の株式に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。企業訪問を含む企業調査を基本としたボトムアップ・アプローチにより、フリーキャッシュフロー、利益成長の潜在能力、業界における競争力、経営者の経営方針等からグローバルな視点で評価した企業価値に則し厳選した銘柄を抽出し、厳選した日本株式(15~30銘柄)に集中投資します。	朝日ライフアセットマネジメント	
	IIJ日本株ファンド (年4回決算型)	IIJ日本株で「マザーファンド」(以下、マザーファンド)への投資を通じて、我が国の株式に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。企業訪問を含む企業調査を基本としたボトムアップ・アプローチにより、フリーキャッシュフロー、利益成長の潜在能力、業界における競争力、経営者の経営方針等からグローバルな視点で評価した企業価値に則し厳選した銘柄を抽出し、厳選した日本株式(15~30銘柄)に集中投資します。	朝日ライフアセットマネジメント	
	日本企業 P B R 向上ファンド <愛称：プレミアム>	わが国の金融商品取引所上場株式の中から、相対的にPBRが低く、企業価値の向上が期待できる企業に投資します。	大和アセットマネジメント	
	日経平均高配当利回り株ファンド	わが国の株式を主要投資対象とし、主として配当収益の確保および中長期的な価値向上が期待できる銘柄を厳選します。 主として、日経平均株価採用銘柄の中から、予想配当利回り上位30銘柄に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント	
	JPMジャパンマスター	主要投資対象は、日本の株式、主として上場銘柄の中から、時価総額にこだわらず、成長性がわかり、かつ株価が割安と判断される銘柄を中心に選定して投資します。 銘柄の選定は、日本株式運用チームが行う企業取材に基づきボトムアップ・アプローチ方式で行います。	JPMエルゴ・アセットマネジメント	
	DIAM新興企業日本株ファンド	主として、今後値上がりが見込まれる新興企業に投資します。新興企業とは、新興市場銘柄に限らず、委託会社独自のデータベースを用い、対象となる株式を様々な観点から分析し、選定を行います。ポートフォリオの構築にあたっては、個別銘柄調査を通じて企業の成長力、競争力、収益力、経営力、株価等の観点から銘柄を選別し、業種比率、時価総額などをとらえながら構築を行います。	アセットマネジメントOne	
	One国内株オープン <愛称：自由投資>	わが国の上場株式に実質的に投資します。マクロ的投資環境の変化に応じて、成長系、割安系、大型、中小型といった視点等から、その時々で最適な投資スタイルを採用します。 個別銘柄の選択は、利益成長、資本効率、キャッシュフローベースの企業価値の観点から、成長力および割安性その他の要因を見極めて行います。ベンチマークはTOPIXです。	アセットマネジメントOne	
	企業価値成長小型株ファンド <愛称：眼力>	主として日本の小型株に投資を行います。 小型株市場の中から、利益成長による将来のROE水準やその改善に着目し、経営の健全性、株価投資指標(バリュエーション)の割安度、期待される投資収益率なども勘案して約30-60銘柄の最終ポートフォリオを構築します。	アセットマネジメントOne	
	ファンデーターゲッジジャパン・ファンド	日本の全上場銘柄からファンダメンタルサーチを通じて企業価値の強みとリスクを調査し、M&A(企業の合併・買収)の可能性などを考慮し、実質的な資産価値が見込める割安銘柄のうち、株主価値の増大に寄与する企業に投資を行います。 成長力や企業価値の強みを調査し、投資先企業価値の向上を図ります。	ファンデーターゲッジ	
	ダイワ JPX日経400ファンド	日本の金融商品取引所上場株式(上場予定含む)を主要投資対象とし、投資対象をJPX日経インデックス400(配当込み)に連動させるとともに、株式の投資比率は、通常の状態で高位を維持することを基本とし運用の効率化をはかるため、日本の株価指数先物取引を利用することがあります。	大和アセットマネジメント	
	ミュートネット	主要投資対象は日本の金融商品取引所上場株式とし、中長期的なグローバルトレンドの分析を行うとともに、ボトムアップ・リサーチ、ファンダメンタル分析を通じて「将来、爆発的な変動を遂げる企業(=ミュートネット・カンパニー)」に厳選投資をします。外国株式に投資することもあり、株式投入比率は原則として高位を保ちます。	日興アセットマネジメント	
	コッセイ P X 日経400アクティブファンド	主要投資対象は、成長が期待される日本企業の株式、中長期的な観点から、ベンチマークである「JPX日経インデックス400(配当込み)」を上回る投資成果を目指して運用を行います。 徹底した調査・分析を通じて、優れた経営効率と利益成長力を実現し、株価の上昇が期待される銘柄に厳選して投資します。	コッセイ アセットマネジメント	
	フィデリティ・脱炭素日本株・ファンド	省エネ/再生可能エネルギー関連の優れた脱炭素関連技術を持つ企業、あるいは脱炭素への取り組み姿勢に優れた企業であると委託会社が判断した銘柄の中から、一定水準以上の社内ESG(環境、社会、企業統治)レーティングが与えられている銘柄を抽出します。 TOPIX(配当込)にベンチマークとし、長期的にベンチマークを上回る運用成果をあげることが目標となります。	フィデリティ投資	
	三井住友・中小型株ファンド	主としてわが国の取引所上場株式のうち、中小型株に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。 徹底した個別銘柄の企業調査・分析による業績予想、個別銘柄ごとのリスク評価からとらえられた企業価値をもとに目標株価水準を算出し、銘柄選定を行います。	三井住友DSアセットマネジメント	
トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	トヨタ自動車およびそのグループ会社のうち、日本の取引所に上場している株式が流動性を勘案した銘柄に投資し、銘柄の投資比率は、銘柄の時価総額に応じて決定し、トヨタ自動車株式約50%、残りの約50%をグループ会社株式の各銘柄の時価総額に応じた比率で投資し、原則、四半期毎に投資比率を調整します。	三井住友DSアセットマネジメント		
中小型株オープン <愛称：投資日々>	主要投資対象は、今後の成長が期待できる企業が数多く存在する国内の中小型株株式とし、中長期的な視点で売上・利益の飛躍的な成長が期待できる企業を見極め、個別銘柄を選定して運用を行います。 成長力や企業価値の強みを調査し、投資先企業価値の向上を図ります。	三井住友トラスト・アセットマネジメント		
三井住友・ハイテク・バイオ・オープン	わが国の株式のうち「元気で健康な高齢者関連ビジネス」と、「介護関連ビジネス」に関連する企業に投資します。株式の新規上場時にも参加します。経済・市場動向等により株式の投入比率は機動的に変更します。高齢化社会における成長分野・成長企業等をリサーチします。	三井住友DSアセットマネジメント		
国内 債券型	ダイワ日本国債ファンド (年1回決算型)	主として日本の国債に投資を行い、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することを目標とします。 投資にあたっては、原則として、最長15年程度までの国債を、各残存期間毎の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れ、国債の実質購入比率は原則として高位です。	大和アセットマネジメント	
	DLB16公社債オープン (長期コース)	主として国内の公社債に投資し、中長期的な観点から経済の弱体化に努めながら信託財産の成長をはかることをめざすファンドです。 購入時にBBB- (またはBaa3) 格以上 (+) の国内の公社債を中心に投資します。利子収入と償上り利益の獲得をめざします。 (+)格付投資信託センター(R・I)、日本株研究研究所(J・C・R)、M o o d y 's または S & P による格付を基準とします。	アセットマネジメントOne	
	DLB16公社債オープン (中期コース)	主として国内の公社債に投資し、中長期的な観点から経済の弱体化に努めながら信託財産の成長をはかることをめざすファンドです。 購入時にBBB- (またはBaa3) 格以上 (+) の国内の公社債を中心に投資します。利子収入と償上り利益の獲得をめざします。 (+)格付投資信託センター(R・I)、日本株研究研究所(J・C・R)、M o o d y 's または S & P による格付を基準とします。	アセットマネジメントOne	
	DIAM J-REITオープン(1年決算コース) (愛称：オナーズ・インカム1Y)	主要投資対象は、東京証券取引所に上場し、東証REIT指数に採用されている(または採用予定)のJ-REITとし、ベンチマークである東証REIT指数(配当込み)を中長期的に上回る投資成果を目指します。 購入対象銘柄群の中から、理論価格との乖離、配当水準等を勘案して銘柄を選定します。	アセットマネジメントOne	
国内 REIT型	J-REIT・リサーチ・オープン (2年3回決算型)	日本の取引所に上場している不動産投資信託証券(J-REIT)を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。 J-REITの投資は、徹底した銘柄調査と市場分析に基づいて行い、不動産研究に特化した株式会社三井住友トラスト基礎研究所から投資助言を受けます。	三井住友トラスト・アセットマネジメント	
	海外 株式型	東洋・インドネシア株式ファンド	主にインドネシアの金融商品取引所に上場する株式(これに準ずるものも含みます。)へ投資し、信託財産の成長を目指します。 実質的な運用は、U O Bアセットマネジメント・リミテッド傘下の P T U O Bアセットマネジメント(インドネシア)が行います。	SOMPOアセットマネジメント
	世界半導体関連フォーカスファンド	主に日本を含む世界各国の取引所等に上場している半導体関連企業の株式(これに準ずるものも含みます。)に投資します。 ※半導体関連企業とは、半導体製造装置等の設計・製造を手掛ける企業や、これらの企業に 製品・サービスを供給する企業等半導体産業から業績面で恩恵を受ける企業をいいます。 ポートフォリオの構築にあたっては、半導体関連企業の中から、ファンダメンタル分析を通じて成長性や株価(バリュエーション)を精査した上で銘柄を選定します。	SBI岡三アセットマネジメント	
	ファンデーターゲッジグローバル・ストラテジー株式ファンド年2回決算型 (愛称：ロイヤルギフト)	主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。	ファンデーターゲッジ	
	ファンデーターゲッジグローバル・ストラテジー株式ファンド年2回決算型 (為替ヘッジあり) (愛称：ロイヤルギフト)	主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。	ファンデーターゲッジ	
	AI(人工知能) 活用型世界株ファンド <愛称：テーパー A I >	主として、日本を除く世界の株式に実質的に投資を行います。 株式の投資は、AI(人工知能)活用型投資信託証券を通じて行い、委託会社が構築したデータ・ラーニングモデルを用いて、相対的に投資魅力が高いと判断される銘柄を抽出します。ニュース・レポート等のテキスト解析や個別企業のファンダメンタル分析を併用し、ポートフォリオを構築します。	アセットマネジメントOne	
	グローバルAIファンド	世界の市場から、AI(人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。 AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、フォー・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが実質的な運用を行います。	三井住友DSアセットマネジメント	
	グローバルAIファンド (為替ヘッジあり)	世界の市場から、AI(人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。 AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、フォー・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが実質的な運用を行います。	三井住友DSアセットマネジメント	
	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジあり)	主として日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行います。 投資にあたっては、サイバーセキュリティの需要拡大および技術向上の恩恵を享受すると考えられる企業の中から、持続的な利益成長性を考慮して銘柄を選定します。	三菱UFJアセットマネジメント	
	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)	主として日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業の株式に投資を行います。 投資にあたっては、サイバーセキュリティの需要拡大および技術向上の恩恵を享受すると考えられる企業の中から、持続的な利益成長性を考慮して銘柄を選定します。	三菱UFJアセットマネジメント	
	ピクテ・セキュリティ・ファンド (為替ヘッジなし)	主として世界のセキュリティ関連企業の株式に投資します。 セキュリティ関連企業とは、「暮らしの安心」「移動の安心」「情報の安心」といった、日常生活に欠かせない安心のニーズに応える製品やサービスを提供する企業をいいます。	ピクテ・ジャパン	
	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)	世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行います。 銘柄選定は株式のアクティブ運用に注力するサード・パーティが徹底した調査に基づき行います。	日興アセットマネジメント	
	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行います。 銘柄選定は株式のアクティブ運用に注力するサード・パーティが徹底した調査に基づき行います。	日興アセットマネジメント	
	グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・1年決算型)	世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行います。 銘柄選定は株式のアクティブ運用に注力するサード・パーティが徹底した調査に基づき行います。	日興アセットマネジメント	
	グローバル・ロボティクス株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型)	世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行います。 銘柄選定は株式のアクティブ運用に注力するサード・パーティが徹底した調査に基づき行います。	日興アセットマネジメント	
グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	自動運転技術の進化、普及により業績拡大が期待される世界の企業の株式に投資します。 実質的な運用は、リサーチに強みのあるニュー・バー・マン・グループが行います。	三井住友DSアセットマネジメント		
グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	自動運転技術の進化、普及により業績拡大が期待される世界の企業の株式に投資します。 実質的な運用は、リサーチに強みのあるニュー・バー・マン・グループが行います。	三井住友DSアセットマネジメント		
次世代通信関連世界株戦略ファンド <愛称：THE S G>	日本を含む世界の次世代通信関連企業の株式に投資します。「次世代通信関連企業」とは、通信技術の発展によって業績面で恩恵を受けることが期待される企業をいいます。 主要投資対象は、次世代通信関連企業の中から、ファンダメンタル分析を通じて、成長性や株価の割安度を検証したうえで選定します。	三井住友トラスト・アセットマネジメント		
次世代通信関連アジア株戦略ファンド <愛称：THE ASIA S G>	主として日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含む)しているアジア次世代通信関連企業の株式(預託証券(DR)を含む)に投資します。 「アジア次世代通信関連企業」とは、日本を含むアジア諸国・地域の通信技術の発展によって業績面で恩恵を受けることが期待される企業をいいます。	三井住友トラスト・アセットマネジメント		
グローバルDX関連株式ファンド (資産成長型) <愛称：The DX>	世界の取引所に上場している株式の中から、主としてデジタル技術を活用し、革新的なデジタルビジネスをもたらすDX(デジタル・トランスフォーメーション)関連企業の株式に投資を行います。 実質的な運用はリサーチに強みのあるニュー・バー・マン・グループが行います。	三井住友DSアセットマネジメント		
UBSグローバルDX株式ファンド (資産成長型)	世界の市場からデジタル・トランスフォーメーション(DX)により飛躍的な成長を遂げることが期待される企業に実質的に投資をします。 富裕層向けに世界最大規模のUBSグローバル・ウェルス・マネジメントとUBSアセット・マネジメントとの協業により、ベスト・アイデア・ポートフォリオを構築します。	UBSアセットマネジメント		
netWIN GSテクノロジー株式ファンドAコース (為替ヘッジあり)	主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。 「よりの投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選定を行います。	ゴールドマンサックス・アセットマネジメント		
netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース (為替ヘッジなし)	主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。 「よりの投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選定を行います。	ゴールドマンサックス・アセットマネジメント		

※上記一覧は2024年6月19日現在のものであり、ファンド固有の事情等により変更となる場合があります。

カテゴリ	銘柄名	ファンドの特色	委託会社
海外株式型	世界スタートアップ&イノベーション株式ファンド	主として日本を含む世界の金融商品取引所等に上場(上場予定を含む)しているスタートアップ&イノベーション企業の株式に投資します。 「スタートアップ&イノベーション」企業の株式とは、中小型株式のうち、原則として新規株式公開(IPO)後10年以内で、人々の生活を革新すると考えられる製品・サービスの提供を通じて高い成長が期待できる企業を指します。ただし、新規株式公開(IPO)後10年を経過した企業株式にも投資を行うことがあります。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
	ペイジー・ゴードン・インバ(ク)投資ファンド <愛称: ポジティブ・チン>	日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。持続可能な成長を実現し、人々を幸せにする世界の現実に向け、好ましい社会的インパクト(社会的変化)をもたらす「インパクト・テーマ」に沿って、重要な社会的課題の解決に資する事業活動を、公正かつ誠実に行う企業の中から、投資機会を発掘します。	三菱UFJアセットマネジメント
	ペイジー・ゴードン世界長期成長株ファンド <愛称: ロイヤル・メイ>	主として日本を含む世界各国(新興国を含む)の株式等(DR(預託証券)を含む)に投資を行います。 投資にあたっては、国や地域、業種、時価総額規模等に関する独自の調査に基づき、長期的視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	脱炭素関連世界株式戦略ファンド (資産成長型)	主として日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場している脱炭素関連企業(温室効果ガスの排出量の削減、吸収及び除去等への貢献が期待される事業を営む企業)の株式に投資します。 主要投資対象ファンドにおける投資銘柄は、脱炭素関連企業の中から、ファンダメンタルズ分析を通じて、成長性や株価の割安度を検証しついで進みます。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
	ピクテ・バイオ医薬品ファンド (1年決算型) 為替ヘッジなしコース	主要投資対象は、世界のバイオ医薬品関連企業の株式です。 高い成長が期待される世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。	ピクテ・ジャパン
	ピクテ・バイオ医薬品ファンド (1年決算型) 円コース	主要投資対象は、世界のバイオ医薬品関連企業の株式です。 高い成長が期待される世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。	ピクテ・ジャパン
	JPモルガン・グローバル医療関連株式ファンド	主要投資対象は、医薬品、バイオテクノロジー、ヘルスケア、サービス、医療技術およびライフサイエンスにかかる業務を行う世界の医療関連企業の株式です。 投資対象候補銘柄について、業種、業種や国・地域、時価総額規模等に関する分散にも配慮しながら、組み入れる銘柄と組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。	JPモルガン・アセットマネジメント
	グローバル全生物ゲム株式ファンド (1年決算型)	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、ゲム技術に関連するビジネスを行う企業およびゲム技術の悪影響を受ける企業の株式に投資を行います。 株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性等を勘案して行います。	日興アセットマネジメント
	グローバル全生物ゲム株式ファンド (年2回決算型)	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、ゲム技術に関連するビジネスを行う企業およびゲム技術の悪影響を受ける企業の株式に投資を行います。 株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性等を勘案して行います。	日興アセットマネジメント
	アジア・ヘルスケア株式ファンド	主要投資対象は、中長期的に高い成長が見込まれる、アジア(除く日本)のヘルスケア関連株式などとし、域内各国で異なるヘルスケア関連セクターを網羅し、大企業から中堅企業、ベンチャー企業まで、幅広いコバースから銘柄を選択します。	日興アセットマネジメント
	ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド (3ヵ月決算型)	主に、世界のプレミアム・ブランド企業の株式に投資します。 個別銘柄のファンダメンタルズ分析により成長力のあるプレミアム・ブランド企業の株式に投資することで信託財産の成長を目指します。特定の銘柄、国や通貨に偏らず、分散投資を基本としてリスク分散を図ります。	ピクテ・ジャパン
	インバスコ世界厳選株式オープン (為替ヘッジあり)(年1回決算型)	日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式の中から、グローバル比較で見た割安銘柄に分散投資をし、銘柄選択にあたっては、ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。	インバスコ アセットマネジメント
	インバスコ世界厳選株式オープン (為替ヘッジなし)(年1回決算型)	日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式の中から、グローバル比較で見た割安銘柄に分散投資をし、銘柄選択にあたっては、ファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価等に基づくボトムアップ・アプローチにより行います。	インバスコ アセットマネジメント
	フィデリティ・世界新成長株投資 Aコース (為替ヘッジあり)	主として世界(日本を含む)の金融商品取引所に上場されている企業の株式に投資を行います。 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要視点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。	フィデリティ投資
	フィデリティ・世界新成長株投資 Bコース (為替ヘッジなし)	主として世界(日本を含む)の金融商品取引所に上場されている企業の株式に投資を行います。 個別銘柄選択にあたっては、世界の主要視点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ」により、魅力的な投資機会の発掘に注力します。	フィデリティ投資
	WCM世界成長株厳選ファンド (資産成長型) (愛称: ネクスト・ジェネレーション)	日本を含む世界各国の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 参入障壁の持続可能性、企業文化、構造的成長力、バリエーションなどに着目し、ボトムアップ・アプローチを通じて銘柄を厳選してポートフォリオを構築します。	朝日トラスト・アセットマネジメント
	アメリカ・ドリーム・ファンド	主要投資対象は、米国小型成長株とし、4つの投資領域(企業独自の優位性、高いマージン&利益率、持続可能な売上成長力、有能な経営陣)に絞られた投資コースの300社から将来の大企業となる小型成長株20-60社へ厳選投資をします。実質的な選定は、RSインベストメントが行います。	SBIアセットマネジメント
	マニウワフ・米国銀行株式ファンド <愛称: アメリカン・バンク>	主要投資対象は米国の銀行・金融機関の株式とし、資本構成、資産の質、償還能力、収益率、流動性および金利感応度などを精査し、中長期的に持続的な成長が見込めると判断される株式に投資します。 マザーファンドの運用は、マニウワフ・アセット・マネジメント(US)LLCが担当します。	マニウワフ・インベストメント・マネジメント
	ライアンス・パーソン・米国成長株投資 Aコース (為替ヘッジあり)	主として成長可能性の高いと判断される米国株式に投資を行い信託財産の成長を図ります。 運用にあたっては、企業のファンダメンタルズ分析と株価/バリュエーションに基づく銘柄選択を基本とします。	ライアンス・パーソン・イン
	ライアンス・パーソン・米国成長株投資 Bコース (為替ヘッジなし)	主として成長可能性の高いと判断される米国株式に投資を行い信託財産の成長を図ります。 運用にあたっては、企業のファンダメンタルズ分析と株価/バリュエーションに基づく銘柄選択を基本とします。	ライアンス・パーソン・イン
	CS米国成長株集中投資ファンド (年4回決算コース)	主要投資対象は長期にわたる優れた利益成長が期待でき、未来の企業価値に対し現在の株価が割安であると判断する、米国を中心とした企業の株式とし、個別企業の分析を重視したボトム・アップ手法により銘柄選択を行い15から20銘柄程度に厳選してポートフォリオを構築します。	ゴールドマンサックス・アセットマネジメント
	フロンティア・インベストメント・オーストラリア高配当株ファンド (年2回決算型)	主要投資対象は、オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券です。 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りが高い銘柄を中心に投資します。流動性リスクを考慮しながら高い配当利回りの実現をめざしてポートフォリオを構築します。	フロンティア・インベストメント・ジャパン
	GSフューチャー・テック/ロジック・リーダーズAコース (限定為替ヘッジ) (愛称: nextWIN)	主要投資対象は日本を含む世界の株式とし、主としてテック/ロジックの活用または発展により悪影響を受け、将来のリーダーになる期待される企業の株式に投資します。 個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。	ゴールドマンサックス・アセットマネジメント
	GSフューチャー・テック/ロジック・リーダーズBコース (為替ヘッジなし) (愛称: nextWIN)	主要投資対象は日本を含む世界の株式とし、主としてテック/ロジックの活用または発展により悪影響を受け、将来のリーダーになる期待される企業の株式に投資します。 個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。	ゴールドマンサックス・アセットマネジメント
	グローバル・インフラ対応高配当株ファンド (成長型) <愛称: 世界のかけ橋>	主要投資対象は、世界のインフラ企業が発行する上場株式などとし、「インフラ企業」とは、インフラ関連企業の中でもインフラ資産を実際に所有する、もしくは、運営するビジネスで収益の多くを獲得する企業を指します。	アセットマネジメントOne
	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (1年決算型)	主に世界の高配当利回りの公益株(電力・ガス・水道・電話・通信・運輸・廃棄物処理・石油供給などの企業)に投資を行い、安定的かつより優れた分配金原資の獲得と信託財産の成長を図ります。 特定の銘柄や国に集中せず分散投資することで、リスクの低減を図ります。	ピクテ・ジャパン
	HSBC世界資源エネルギーオープン	主に世界の資源、エネルギー、新エネルギー、公益事業、食糧・水等に関連する株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 また投資対象企業のADRおよびGDR等へも投資することがあり株式の組入比率は、原則として高位を維持します。	HSBCアセットマネジメント
	ピクテ新鋭国・インカム株式ファンド (1年決算型)	主要投資対象は、新興国の大企業が発行する高配当利回りの株式です。 特定の銘柄、国や通貨に集中せず分散投資することで、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。株式の実質組入比率は高位を確保します。	ピクテ・ジャパン
	アセアン・ギガトレンド株式ファンド	アセアン加盟国企業の株式の中から、アセアン経済圏の成長に貢献する企業またはその恩恵を受けられる企業の株式に投資を行います。株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。	日興アセットマネジメント
	DIAM VIPオープン・ガス・ファンド <愛称: アジア・倶楽部>	主に、VIP(ベトナム、インドネシア、フィリピン)の3か国に重点を置きながら、その他のASEAN(東南アジア諸国連合)加盟国や中国(含む香港)、インド等のアジア諸国(除く日本)の株式等に投資を行います。 VIPへの投資比率は過半数を確保しつつも、VIP以外の投資割合はそれぞれ1/3程度になることを基本とします。	アセットマネジメントOne
	チャイナ・エネルギー・イノベーション株式ファンド ※チャイナ脱炭素イノベーション「コア」から名称変更	上海および深センの金融商品取引所に上場し、香港や米国の金融商品取引所等に上場されており、脱炭素関連ビジネスを行う中国企業およびその恩恵を受ける中国企業株式に投資を行います。 株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。	日興アセットマネジメント
	東洋・中国A株オープン「創研」	主に中国の上海証券取引所および深セン証券取引所に上場する人民元建て株式(中国A株)に投資し、信託財産の成長を目指します。 実質的な運用は、中国の総合金融会社である中国平安保険グループ傘下の平安ファンド・マネジメント・カンパニー・リミテッドが行います。	SOMPOアセットマネジメント
	UBS中国時代株式ファンド (年1回決算型)	中国語、香港籍もしくは主に中国に活動拠点を置く企業等の株式(預託証券を含む)を主な投資対象とします。 中長期的な観点から構造的な成長が期待されるセクターの中で、相対的に高い競争優位性を有する企業を選別し、投資を行います。	UBSアセットマネジメント
	UBS中国時代株式ファンド (年2回決算型)	中国語、香港籍もしくは主に中国に活動拠点を置く企業等の株式(預託証券を含む)を主な投資対象とします。 中長期的な観点から構造的な成長が期待されるセクターの中で、相対的に高い競争優位性を有する企業を選別し、投資を行います。	UBSアセットマネジメント
	深セン・イノベーション株式ファンド (1年決算型)	中国のシリコンバレーとして知られる深センに着目し、イノベーション企業の成長を積極的に捉えます。 深セン証券取引所に上場されている、人民元建ての中国本土株式(中国A株)を主要投資対象とし、米国の金融商品取引所に上場されている中国企業の株式(預託証券を含む)も投資を、日興アセットマネジメント・アジア・リミテッドが運用を行います。	日興アセットマネジメント
	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	中国国内で事業展開している企業の中から、中長期的な運用視点に基づき、各業種毎に競争力の強いエクセレント・カンパニーに集中投資します。また、中国を代表する企業の新規公開にも着目し、選別投資により、より収益確保を狙います。	三井住友DSアセットマネジメント
	バインブリッジ・厳選インド株式ファンド	主として投資信託証券への投資を通じて、インドの取引所上場株式等およびが公的機関に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。 外国債投資信託証券(バインブリッジ・インド・エクイティ・ファンド)への投資は、併用して高位に保つことを基本とします。	バインブリッジ・インベストメント
	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	インドの金融商品取引所に上場している消費関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。 企業分析を重視したボトム・アップ・アプローチを基本として、高収益・高成長が確見込まれる銘柄を選択し、ポートフォリオを構築します。	イーストスプリング・インベストメント
	SBI・UTI・インドファンド	ムバ(証券取引所)またはナショナル証券取引所上場のインド株式を実質的な主要投資対象とし、直接投資に加えて預託証券を用いた投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。 一部、日本の短期公社債および短期金融商品に実質的に投資も行います。	SBIアセットマネジメント
	東洋・ベトナム株式オープン	主としてベトナムの証券取引所に上場している株式等を実質的な投資対象とします。 個別企業訪問によるボトムアップ・アプローチと独自に開発したクオンタム・モデルを統合した運用プロセスで、中長期的に高い成長が見込まれるベトナム企業を発掘し、安定的で良好なパフォーマンスの獲得を目指します。	明治安田アセットマネジメント
	ベトナム株式ファンド	主要投資対象は、ベトナムの取引所に上場している株式、および世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム企業等の株式です。銘柄選定にあたっては、成長性、財務健全性および流動性等に配慮し、厳選投資を行います。	三井住友DSアセットマネジメント
	ベトナム成長株インカムファンド	主要投資対象は、ベトナムの取引所に上場する株式ならびに世界各国・地域の取引所に上場するベトナム関連企業の株式です。ベトナム関連企業とはベトナムで営業を行う、もしくはベトナム経済の動向から影響を受けるビジネスを行う企業とします。	キャピタル アセットマネジメント
	ダウ・ブラジル株式ファンド	主要投資対象は、ブラジルの株式(DR(預託証券)を含む)です。 個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価/バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築し、中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざします。	大和アセットマネジメント
	イーストスプリング・インドネシア株式オープン	主要投資対象は、インドネシアの金融商品取引所に上場されている株式とし、企業の本質的な価値を重視し、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行います。また日本国債にも投資を行います。	イーストスプリング・インベストメント
	トルコ株式オープン <愛称: ミル・オブ>	トルコ株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して積極運用を行います。 株式の銘柄選定にあたっては収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。	SOMPOアセットマネジメント

※上記一覧は2024年6月19日現在のものであり、ファンド固有の事情等により変更となる場合があります。

カテゴリ	銘柄名	ファンドの特色	委託会社
海外 REIT型	新光 US-REITオープン (年1回決算型) <愛称: ゼウスⅡ>	主要投資対象は、米国の金融商品取引所および店頭市場登録の不動産投資信託証券(US-REIT)とし、銘柄の選定に当たっては、業績動向と企業内容、ならびに保有する不動産の価値等についてバランズよく調査し、長期的な成長性または内在する価値からの割安度を重視します。	アセットマネジメントOne
	ササール・グローバルREITファンド (1年決算型)	世界各国の金融商品取引所に上場する不動産投資信託証券(REIT)を主要投資対象とし、安定収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。各銘柄毎の利回り水準、市況動向、安定性、流動性に加え、ファンダメンタルズや割安性の分析もを行い、組入銘柄を選定します。	日興アセットマネジメント
	アジア利回りリート・ファンド (年1回決算型)	主要投資対象は、日本を除くアジア各国・地域(オセアニア含む)の取引所に上場している不動産投資信託証券です。収益の成長性に加え、配当利回りのバリエーションに着目した運用を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。	三井住友DSアセットマネジメント
	パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド <愛称: 未来インフラ>	主として日本を含む世界各国の取引所に上場されている(これに準ずるものを含む)テクノロジー・インフラに関連する不動産投資信託証券(REIT)および株式を主要投資対象とします。テクノロジー・インフラとは、データセンター、通信タワー、eコマース関連施設、テクノロジー関連施設等を指します。	パインブリッジ・インベストメンツ
	パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド <愛称: 未来インフラ(3ヵ月決算型)>	主として日本を含む世界各国の取引所に上場されている(これに準ずるものを含む)テクノロジー・インフラに関連する不動産投資信託証券(REIT)および株式を主要投資対象とします。テクノロジー・インフラとは、データセンター、通信タワー、eコマース関連施設、テクノロジー関連施設等を指します。	パインブリッジ・インベストメンツ
海外 債券型	2050年満期米国国債ファンド (年4回分配型)	原則として、2050年に満期を迎える米国国債に投資を行い、各国債を満期まで保有します。	日興アセットマネジメント
	パインブリッジ新安優良債券ファンド (資産成長型) (愛称: ボンドレーダー)	主として国内外の優良企業が発行した米ドル建ての割安な投資適格社債に投資を行う投資信託証券、およびわが国の公社債に投資を行う投資信託証券に投資を行い、安定的なインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。	パインブリッジ・インベストメンツ
	DWSグローバル公益債券ファンド (年1回決算型) (愛称: 為替ヘッジあり)	主要投資対象は、電力・ガス・水道等を供給する世界の公益企業・公社およびその他の日常生活に密接なサービスを行う企業が発行する債券とし、金利水準・流動性・信用力等を勘案して選択した銘柄に投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指します。	ドイチェ・アセット・マネジメント
	DWSグローバル公益債券ファンド (年1回決算型) (愛称: 為替ヘッジなし)	主要投資対象は、電力・ガス・水道等を供給する世界の公益企業・公社およびその他の日常生活に密接なサービスを行う企業が発行する債券とし、金利水準・流動性・信用力等を勘案して選択した銘柄に投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指します。	ドイチェ・アセット・マネジメント
	ピクテ・グローバル・インカム債券ファンド (1年決算型)	主な投資対象は、日常生活に不可欠な公益サービスを提供する公益企業が発行する債券[ESG関連債券(公益企業が発行する環境や社会の課題解決に向けたプロジェクトに資金を活用する目的で発行された債券や、環境や社会への貢献が期待できる分野での収益比率等が一定以上の企業が発行する債券)を含む]です。組入債券の平均格付けは、原則としてBBB格相当以上(BBB-を含む)とします。	ピクテ・シヤパン
	ピクテ資源国ソブリン・ファンド (1年決算型)	主に資源国の現地通貨建てのソブリン債券または準ソブリン債券に投資を行い、より優れた分配金原資の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。またポートフォリオの平均格付けは、原則として「A-格」以上に保ちます。	ピクテ・シヤパン
	東京海上・ニッセイ世界債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	主要投資対象は、日系発行体(日本企業もしくはその子会社、日本の政府機関等)が世界で発行するA格相当以上の外貨建債券等とし、通貨配分は、北米通貨圏と欧州通貨圏、オセアニア通貨圏を概ね1/3ずつとすることを基本とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ります。	東京海上アセットマネジメント
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド (年2回決算型)	主要投資対象は、インドの政府、政府機関、企業および国際機関等が発行するインドルピー建てもしくは米ドル建ての公益インフラ債券とし、米ドル建ての債券に投資を行う場合には、原則として実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。	イーストスプリング・インベストメンツ
	エマージング・ソブリン・オープン (資産成長型) <愛称: エマプラン>	新興国が米国市場やユーロ市場等の国際的な市場および自国市場で発行する米ドル建てのソブリン債券を中心に、準ソブリン債券への投資も行います。ベンチマークはJ.P.Morgan EMBI Global Diversified(円換算)です。	三菱UFJアセットマネジメント
	バランス	三井住友DSインカム(フランスNISA)ファンド (成長投資型) (愛称: はぐ(む)ニサ(成長))	投資信託証券への投資を通じて、世界各国の債券、株式、不動産投資信託(リート)に分散投資することにより、安定的なインカム収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。
リアルアセット関連証券ファンド (年2回決算型)		日本を含む世界のリアルアセット関連企業(生活や経済成長の基盤であるリアルアセット(実物資産)の運営・管理等を行うインフラ及び不動産関連の企業)が発行する証券に分散投資を行います。銘柄選定は、ボトムアップ・リサーチによるファンダメンタルズ分析に基づき、個別企業の収益性、成長性、価格の割安度及び資本構成全体等に注目して行い、分散を考慮してポートフォリオを構築します。	三井住友トラスト・アセットマネジメント
金	ピクテ・ゴールド (為替ヘッジあり)	実質的に金に投資をします。投資信託証券への投資を通じて、金の現物に投資し、米ドル建ての金価格の値動きを概ねとらえることを目指します。	ピクテ・シヤパン
	ピクテ・ゴールド (為替ヘッジなし)	実質的に金に投資をします。投資信託証券への投資を通じて、金の現物に投資し、金価格の値動きを概ねとらえることを目指します。	ピクテ・シヤパン

※上記一覧は2024年6月19日現在のものであり、ファンド固有の事情等により変更となる場合があります。

カテゴリ	銘柄名	ファンドの特色	委託会社
** NISA成長投資枠一覧 ホームトレード専用 (以下、HT専用) **			
国内 株式型	(HT専用) eMAXIS 日経225インデックス	日経平均株価 (日経225) (配当込み) と連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS TOPIXインデックス	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) と連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS JPX日経400インデックス	JPX日経インデックス400 (配当込み) に連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS JAPANクオリティ150インデックス	東京証券取引所を主たる市場とする普通株式のうち、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指数 (ISTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス (配当込み)) 採用銘柄の株式を主要投資対象とし、ベンチマークである同指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
国内 債券型	(HT専用) eMAXIS 国内債券インデックス	NOMURA-BPI総合指数に採用されている日本の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークである同指数に概ね連動する投資成果を目指します。対象インデックスとの連動性を維持するため、先物取引等を利用し公社債の実質投資比率が100%を超える場合があります。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 国内物価連動国債インデックス	主要投資対象は、わが国の物価連動国債 (全国消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合指数) の動きに応じて、元金額や利払い額が増減する国債) とし、NOMURA物価連動国債インデックス (コアあり) に連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
国内 REIT型	(HT専用) eMAXIS 国内リートインデックス	主要投資対象は、東証REIT指数 (配当込み) に採用されている不動産投資信託証券とし、東証REIT指数 (配当込み) と連動する投資成果をめざして運用を行います。対象インデックスとの連動性を維持するため、不動産投資信託証券の実質投資比率が100%を超える場合があります。	三菱UFJアセットマネジメント
海外 株式型	(HT専用) eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)	MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS Slim 米国株式 (S & P 500)	S & P 500 指数 (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) iTrust インド株式	投資信託証券への投資を通じて、主にインド企業 (インドに本社を置いている企業または主たる事業をインドで行っている企業) の株式に投資します。	ビクター・ジャパン
	(HT専用) iTrustバイオ	高い成長が期待される世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。運用にあたっては、株式の運用指図に関する権限を「ビクター・アセット・マネジメント・リミテッド」および「ビクター・アセット・マネジメント・エス・エイ」へ委託します。	ビクター・ジャパン
	(HT専用) iTrustロボ	主に日本を含む世界のロボティクス関連企業 (製造、輸送、医療、サービス等の各分野において、人の代替や効率化に貢献するロボット関連技術、部品、人工知能等に携わる企業) の株式に投資します。特定の銘柄、国や通貨に集中せず分散投資を基本としリスク分散を図ります。	ビクター・ジャパン
	(HT専用) iTrust世界株式 <委称: 世界代表~勝ち組企業厳選~>	主に高い競争優位性をもつグローバル優良企業の株式に分散投資します。	ビクター・ジャパン
	(HT専用) eMAXIS NYダウインデックス	ダウ・ジョーンズ工業株値平均 (NYダウ) (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 全世界株式インデックス	MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース) と連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 新興国株式インデックス	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) と連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 先進国株式インデックス	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース) と連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
海外 債券型	(HT専用) eMAXIS 先進国債券インデックス	主要投資対象は、FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) に採用されている国債とし、公社債の実質投資比率は高レベルを維持し、FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース) と連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 新興国債券インデックス	主要投資対象は、新興国の現地通貨建ての公社債とベンチマークであるJPREI/GBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円換算ベース) に連動する投資成果をめざします。対象インデックスとの連動性を維持するため、先物取引等を利用し公社債の実質投資比率が100%を超える場合があります。	三菱UFJアセットマネジメント
海外 REIT型	(HT専用) eMAXIS 先進国リートインデックス	主要投資対象は、S&P先進国REITインデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース) に採用されている不動産投資信託証券とし、銘柄選定にあたっては、時価総額および流動性等を勘案し、S&P先進国REITインデックス (除く日本、配当込み、円換算ベース) と連動する投資成果をめざして運用を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 新興国リートインデックス	主要投資対象は、新興国の不動産投資信託証券 (リート) 等です。S&P新興国リートインデックス (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざして運用を行います。対象インデックスとの連動性を維持するため、先物取引等を利用し不動産投資信託証券等の実質投資比率が100%を超える場合があります。	三菱UFJアセットマネジメント
バランス	(HT専用) eMAXIS バランス (4資産均等型)	各投資対象資産の指数を均等比率で組み合わせた合成ベンチマークに連動する成果をめざして運用を行います。主として対象インデックスに採用されている日本を含む先進国の株式および公社債に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS バランス (8資産均等型)	各投資対象資産の指数を均等比率で組み合わせた合成ベンチマークに連動する成果をめざして運用を行います。主として対象インデックスに採用されている日本を含む世界各国の株式 (DR (預託証券) を含みます。)、公社債および不動産投資信託証券 (リート) に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS バランス (波乗り型)	主要投資対象は、日本を含む世界各国の株式 (DR (預託証券) を含む)、公社債および不動産投資信託証券 (リート) です。国内株式、先進国株式、新興国株式および国内債券への投資にあたっては、トレンドフォロー戦略を活用し、機動的に資金を配分します。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 債券バランス (2資産均等型)	主として日本を含む先進国の公社債に実質的に投資します。国内債券、日本を除く先進国債券の指数を均等比率で組み合わせた合成ベンチマークに連動する投資成果をめざします。国内債券および先進国債券への実質的な投資割合は、純資産総額に対してそれぞれ50%とします。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 最適化バランス (マイグレーションバー)	イボットソン・アシアエイツ・ジャパン (以下「イボットソン社」といいます) が算出する最適化バランス指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。主として各マザーファンドの対象インデックスに採用されている日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 最適化バランス (マイグレーション)	イボットソン・アシアエイツ・ジャパン (以下「イボットソン社」といいます) が算出する最適化バランス指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。主として各マザーファンドの対象インデックスに採用されている日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 最適化バランス (マイグレーション)	イボットソン・アシアエイツ・ジャパン (以下「イボットソン社」といいます) が算出する最適化バランス指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。主として各マザーファンドの対象インデックスに採用されている日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 最適化バランス (マイグレーション)	イボットソン・アシアエイツ・ジャパン (以下「イボットソン社」といいます) が算出する最適化バランス指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。主として各マザーファンドの対象インデックスに採用されている日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 最適化バランス (マイグレーション)	イボットソン・アシアエイツ・ジャパン (以下「イボットソン社」といいます) が算出する最適化バランス指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。主として各マザーファンドの対象インデックスに採用されている日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント
	(HT専用) eMAXIS 最適化バランス (マイグレーション)	イボットソン・アシアエイツ・ジャパン (以下「イボットソン社」といいます) が算出する最適化バランス指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。主として各マザーファンドの対象インデックスに採用されている日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント

※上記一覧は2024年6月19日現在のものであり、ファンド固有の事情等により変更となる場合があります。

カテゴリ	銘柄名	ファンドの特色	委託会社
** NISA成長投資枠一覧 (IFA専用) **			
国内 株式型	フィデリティ・日本成長株・ファンド	主要投資対象は、日本の取引所に上場(これに準ずるものを含む)とされている株式です。 個別企業分析により、市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資します。	フィデリティ投資
	フィデリティ・日本配当成長株・ファンド (分配重視)	ファンドは、フィデリティ・日本配当成長株・マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。) 受益証券への投資を通じて、わが国の取引所に上場 (これに準ずるものを含みます。) とされている株式を主要投資対象とし、高水準の配当等収益の確保を図るとともに投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。	フィデリティ投資
海外 株式型	コッセイ A 1 関連株式ファンド (年2回決算型/為替ヘッジあり) <愛称: AI革命>	日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI(人工知能)関連企業の株式に投資を行います。AIとは、Artificial Intelligenceの略で、学習・推論・判断といった人間の知能を持つ機能を備えたコンピュータシステムのことを指します。 株式の運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。	コッセイアセットマネジメント
	コッセイ A 1 関連株式ファンド (年2回決算型/為替ヘッジなし) <愛称: AI革命>	日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI(人工知能)関連企業の株式に投資を行います。AIとは、Artificial Intelligenceの略で、学習・推論・判断といった人間の知能を持つ機能を備えたコンピュータシステムのことを指します。 株式の運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。	コッセイアセットマネジメント
	コッセイ A 1 関連株式ファンド (年1回決算型/為替ヘッジあり) <愛称: AI革命>	日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI(人工知能)関連企業の株式に投資を行います。AIとは、Artificial Intelligenceの略で、学習・推論・判断といった人間の知能を持つ機能を備えたコンピュータシステムのことを指します。 株式の運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。	コッセイアセットマネジメント
	コッセイ A 1 関連株式ファンド (年1回決算型/為替ヘッジなし) <愛称: AI革命>	日本を含む世界各国の株式の中から、主にAI(人工知能)関連企業の株式に投資を行います。AIとは、Artificial Intelligenceの略で、学習・推論・判断といった人間の知能を持つ機能を備えたコンピュータシステムのことを指します。 株式の運用はTCWアセット・マネジメント・カンパニーが行います。	コッセイアセットマネジメント
	コッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド (年2回決算型/為替ヘッジあり) <愛称: スペース革命>	主として、日本を含む世界各国の宇宙関連企業(ロケットや人工衛星の製造・打上げ・運用等に関する事業を展開する企業、衛星データ等を活用して事業を展開する企業など)の株式を主要投資対象とします。 TCWインベストメント・マネジメント・カンパニーからの助言を活用し、株価上昇が期待される銘柄に投資を行います。	コッセイアセットマネジメント
	コッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド (年2回決算型/為替ヘッジなし) <愛称: スペース革命>	主として、日本を含む世界各国の宇宙関連企業(ロケットや人工衛星の製造・打上げ・運用等に関する事業を展開する企業、衛星データ等を活用して事業を展開する企業など)の株式を主要投資対象とします。 TCWインベストメント・マネジメント・カンパニーからの助言を活用し、株価上昇が期待される銘柄に投資を行います。	コッセイアセットマネジメント
	コッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド (資産成長型/為替ヘッジあり) <愛称: スペース革命>	主として、日本を含む世界各国の宇宙関連企業(ロケットや人工衛星の製造・打上げ・運用等に関する事業を展開する企業、衛星データ等を活用して事業を展開する企業など)の株式を主要投資対象とします。 TCWインベストメント・マネジメント・カンパニーからの助言を活用し、株価上昇が期待される銘柄に投資を行います。	コッセイアセットマネジメント
	コッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド (資産成長型/為替ヘッジなし) <愛称: スペース革命>	主として、日本を含む世界各国の宇宙関連企業(ロケットや人工衛星の製造・打上げ・運用等に関する事業を展開する企業、衛星データ等を活用して事業を展開する企業など)の株式を主要投資対象とします。 TCWインベストメント・マネジメント・カンパニーからの助言を活用し、株価上昇が期待される銘柄に投資を行います。	コッセイアセットマネジメント
	フィデリティ・米国株式ファンド Aコース (資産成長型・為替ヘッジあり)	主として米国を中心に世界(日本を含む)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含む)とされている企業の株式に投資を行います。 「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した個別企業分析により、将来有望な成長企業や、ファンダメンタルズに対し株価が割安な企業へ投資を行います。	フィデリティ投資
	フィデリティ・米国株式ファンド Bコース (資産成長型・為替ヘッジなし)	主として米国を中心に世界(日本を含む)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含む)とされている企業の株式に投資を行います。 「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した個別企業分析により、将来有望な成長企業や、ファンダメンタルズに対し株価が割安な企業へ投資を行います。	フィデリティ投資
フィデリティ・米国株式ファンド Cコース (分配重視型・為替ヘッジあり)	主として米国を中心に世界(日本を含む)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含む)とされている企業の株式に投資を行います。 「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した個別企業分析により、将来有望な成長企業や、ファンダメンタルズに対し株価が割安な企業へ投資を行います。	フィデリティ投資	
フィデリティ・米国株式ファンド Dコース (分配重視型・為替ヘッジなし)	主として米国を中心に世界(日本を含む)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含む)とされている企業の株式に投資を行います。 「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した個別企業分析により、将来有望な成長企業や、ファンダメンタルズに対し株価が割安な企業へ投資を行います。	フィデリティ投資	
グリーン・テクノロジー株式ファンド (為替ヘッジあり) <愛称: グリーン革命>	日本を含む世界各国のグリーン・テクノロジー関連企業(SDGs(持続可能な開発目標)における持続可能なエネルギーや気候変動に関連する目標の達成に貢献することが期待され、かつグリーンエネルギー生成、効率的なエネルギー貯蔵、持続可能なエネルギー消費に積極的に貢献する製品・サービスを提供、またはその恩恵を享受することが期待される企業)の株式等に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント	
グリーン・テクノロジー株式ファンド (為替ヘッジなし) <愛称: グリーン革命>	日本を含む世界各国のグリーン・テクノロジー関連企業(SDGs(持続可能な開発目標)における持続可能なエネルギーや気候変動に関連する目標の達成に貢献することが期待され、かつグリーンエネルギー生成、効率的なエネルギー貯蔵、持続可能なエネルギー消費に積極的に貢献する製品・サービスを提供、またはその恩恵を享受することが期待される企業)の株式等に投資を行います。	三菱UFJアセットマネジメント	
メルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	世界各国のプレミアム企業(高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業)の株式に投資を行い中長期的な値上がり益の獲得を目指します。	三菱UFJアセットマネジメント	
メルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)	世界各国のプレミアム企業(高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業)の株式に投資を行い中長期的な値上がり益の獲得を目指します。	三菱UFJアセットマネジメント	
海外 債券型	みずほUS(ハイイールド)オープン (年1回決算型) 為替ヘッジあり	主要投資対象は、米ドル建ての高利回り債(ハイイールド債)とし、定性・定量分析にマクロ経済見通し等を投資判断に加え、相対的に魅力的な銘柄を選出してポートフォリオを構築します。 ベンチマークは、ICE BofAML US キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス(円ベース)とし、ファミリーファンド方式で運用します。	アセットマネジメントOne
	みずほUS(ハイイールド)オープン (年1回決算型) 為替ヘッジなし	主要投資対象は、米ドル建ての高利回り債(ハイイールド債)とし、定性・定量分析にマクロ経済見通し等を投資判断に加え、相対的に魅力的な銘柄を選出してポートフォリオを構築します。 ベンチマークは、ICE BofAML US キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス(円ベース)とし、ファミリーファンド方式で運用します。	アセットマネジメントOne
	フィデリティ・US(ハイイールド)ファンド (資産成長型) C (為替ヘッジあり)	米ドル建て高利回り事業債(ハイイールド・ボンド)を中心に分散投資を行い、高水準の利息等の収入を確保するとともに、値上がり益の追求を目指します。 格付けに関しては、主にBa格以下またはBB格以下の格付けの事業債に投資を行い、銘柄選択に関しては個別企業分析により判断します。	フィデリティ投資
	フィデリティ・US(ハイイールド)ファンド (資産成長型) D (為替ヘッジなし)	米ドル建て高利回り事業債(ハイイールド・ボンド)を中心に分散投資を行い、高水準の利息等の収入を確保するとともに、値上がり益の追求を目指します。 格付けに関しては、主にBa格以下またはBB格以下の格付けの事業債に投資を行い、銘柄選択に関しては個別企業分析により判断します。	フィデリティ投資
海外 REIT型	ダイワ・US-REIT・オープン (年1回決算型) 為替ヘッジあり	米国のリートに投資し、米ドル建資産のポートフォリオの配当利回り(FTSE NAREITエキイティ・REIT・インデックス(配当金込み)/米ドルベース指数)の配当利回り以上となることをめざします。 安定的な配当が見込める銘柄を選定し、セクターおよび地域配分を考慮してポートフォリオを構築します。	大和アセットマネジメント
	ダイワ・US-REIT・オープン (年1回決算型) 為替ヘッジなし	米国のリートに投資し、米ドル建資産のポートフォリオの配当利回り(FTSE NAREITエキイティ・REIT・インデックス(配当金込み)/米ドルベース指数)の配当利回り以上となることをめざします。 安定的な配当が見込める銘柄を選定し、セクターおよび地域配分を考慮してポートフォリオを構築します。	大和アセットマネジメント
バロンス	長期資産形成戦略ファンド <愛称: 100歳計画>	主として、米国ハイイールド債券や国内株式に投資します。 主に、米国ハイイールド債券への投資を主とした運用期間と、国内株式への投資を主とした運用期間と、スイッチングモデル(株式と債券のスプレッド(価格差)をベースに、相対的に株式の割高・割安度を計量的に判定するモデル)のシグナルを参考に、大に運用戦略のスイッチ(切り替え)を行います。	ファイスター投資顧問

※上記一覧は2024年6月19日現在のものであり、ファンド固有の事情等により変更となる場合があります。

#### 【NISA制度(成長投資枠・つみたて投資枠)に関するご留意事項】

- ・ 2024年1月1日から、旧NISA制度が終了し新NISA制度へ移行します。
- ・ 新NISA制度では、全ての金融機関を通じて、同一年において一人一口座に限り開設することができます。
- ・ 新NISA制度において、成長投資枠とつみたて投資枠を別々の金融機関に開設することはできません。
- ・ 新NISA制度は、日本にお住まいの18歳以上の方が対象です。
- ・ 新NISA制度の1年間の投資限度額はつみたて投資枠120万円、成長投資枠240万円です。
- ・ 新NISA制度の保有限度額は全体で1,800万円、うち成長投資枠1,200万円です。
- ・ 新NISA制度で売却した場合、その年中に非課税投資枠の再利用は出来ません。この際、保有限度額は当該売却銘柄が消費していた分減少し、翌年に年間投資限度額の範囲内で再利用が可能となります。
- ・ 新NISA制度では、収益は全額非課税となり損失は税務上ないものとされ、特定口座や一般口座で保有する他の上場株式等の配当所得および譲渡所得等との損益通算はできません。
- ・ 配当等は口座開設金融機関等経由で交付されたもの(株式数比例配分方式を選択されている場合)のみが非課税となります。
- ・ 特定口座や一般口座で保有している上場株式等を、NISA制度の口座への移管や異なる金融機関に保有しているNISA口座内の上場株式等の移管はできません。
- ・ NISA制度の口座における上場株式等を、他の金融機関のNISA制度の口座へ移管することはできません。
- ・ NISA制度の口座から払い出された非課税上場株式等の取得価額は払出日における時価となります。

#### 【NISA成長投資枠のご留意事項】

- ・ 当社の成長投資枠で購入できる対象の金融商品は、上場株式、上場投資信託 (ETF・ETN等)、上場不動産投資信託、当社が指定した外国株式、法令等の対象かつ当社が選定した公募株式投資信託等です。
- ・ 成長投資枠での積立投資の下限額は毎月1万円です。
- ・ 成長投資枠での積立投資の上限額は、通常の積立投資契約に準じます。ただし、年間投資枠の上限を超過した金額分は、特定口座での買付となります。
- ・ 積立投資のご利用には、積立契約(累積投資契約)をお申し込みいただく必要があります。これに基づき、定期かつ継続的な方法による買い付けが行われます。

#### 【NISAつみたて投資枠のご留意事項】

- ・ 当社のつみたて投資枠で購入できる対象の金融商品は、法令等の対象かつ当社が選定した公募株式投資信託等です。
- ・ つみたて投資枠での積立投資の上限額は、毎月10万円です。また、下限額は毎月1万円です。
- ・ つみたて投資枠のご利用には、つみたてに係る積立契約(累積投資契約)をお申し込みいただく必要があります。これに基づき、定期かつ継続的な方法による買い付けが行われます。  
主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。  
主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

#### 【旧NISA制度のつみたてNISAの留意事項について】

- ・ つみたてNISAでお買い付けいただいた投資信託について、原則として年1回、信託報酬等の概算値を通知いたします。
- ・ 法令により、つみたてNISAの累積投資勘定を設けた日から10年を経過した日および同日の翌日以後5年を経過した日ごとに、お客さまのお名前・ご住所について確認させていただきます。確認ができない場合は、新たにお買い付けされた金融商品をつみたてNISAへ受入れることができなくなります。

#### 【手数料等およびリスク】

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただけます。
- ・ また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・ 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### 【積立投信に関するご留意事項】

- ・ 毎月の買付の際に、投資信託ごとに定められている手数料等がかかります。お客さまが指定された積立金額から手数料等を差引いた金額で投資信託を買付します。
- ・ 振替日において当社お客さま取引口座の残高が積立予定金額に満たない場合、当該月の買付は行いません。
- ・ 積立投信を複数の銘柄でお申込みいただいている場合、当社お客さま口座の残高が合計積立予定金額に満たない場合は、当該各銘柄のいずれかについても買付を行いません。
- ・ ご契約の際は、積立投信約款および各投資信託の交付目論見書や目論見書補完書面等を必ずご覧ください。
- ・ 投資信託がお客さまの投資方針に適さない場合やお客さまのご経験・知識等により、その取引をお受けできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。